

平成 22 年 3 月期

決算補足資料（連結・単独）

# 目次

## 【連結情報】

- P. 1・・・連結業績の状況、セグメント情報、連単倍率、経営指標
- P. 2、3・・・平成21年度（22年3月期）の連結決算業績  
    (①売上高、②営業利益、③経常利益、④特別損益、⑤当期純利益)  
    主な製品の売上高、海外売上高
- P. 4・・・平成22年度（23年3月期）の連結決算業績（見込み）  
    (①売上高、②営業利益、③経常利益、④当期純利益)
- P. 5・・・連結決算業績（見込み）、主な製品の売上高（見込み）
- P. 6・・・連結キャッシュ・フローの状況
- P. 7・・・連結損益計算書
- P. 8、9・・・連結貸借対照表
- P. 10・・・連結株主資本等変動計算書
- P. 11・・・発行済株式・自己株式
- P. 12・・・退職給付債務の状況について
- P. 13・・・減価償却費・設備投資額、期末従業員数

## 【単独情報】

- P. 14・・・主要な経営指標等の推移、自社品比率
- P. 15・・・損益計算書
- P. 16、17・・・貸借対照表
- P. 18・・・株主資本等変動計算書
- P. 19—21・・・販売費及び一般管理費・率、有価証券・投資有価証券残高内訳、  
    期末従業員数、販売状況、株式の状況
- P. 22—25・・・開発品の進捗状況・主な開発品のプロフィール

## 平成 21 年度 (22 年 3 月期) 連結決算

### 連結業績の状況

(単位：億円)

	20年度 実績	21年度 予想	21年度 実績	予想比	前期比
売上高	1,365	1,393	1,359	▲2.4%	▲0.4%
営業利益	434	407	398	▲2.1%	▲8.4%
経常利益	467	435	427	▲1.8%	▲8.6%
当期純利益	237	287	278	▲2.9%	17.3%

(注) 21年度予想の数値は、平成22年3月期 第3四半期決算発表時に公表したものです。

### セグメント情報

(1) 当期の部門別業績の概況

(単位：億円)

事業部門	売上高
医薬品事業	1,359

(2) 当期の海外売上高の概況

(単位：億円)

地 域	売上高
本 邦	1,313
海 外	46

### 連単倍率

	20年度	21年度
(損益計算書関係)		
売上高	1.01	1.01
営業利益	1.02	1.02
経常利益	1.01	1.02
当期純利益	1.01	1.01
(貸借対照表関係)		
総資産	1.02	1.02
純資産	1.02	1.02

### 経営指標

(単位：円)

	20年度		21年度	
	連結決算	単独決算	連結決算	単独決算
一株当たり当期純利益	216.07	214.30	256.38	254.20
一株当たり純資産	3,555.54	3,533.13	3,701.49	3,676.58
自己資本比率	91.8%	92.7%	92.9%	93.8%

## 平成 21 年度 (22 年 3 月期) の連結決算業績

### ①売上高 1,359 億円 前期比 0.4%減 (前期 1,365 億円)

当期の主要製品の状況ですが、末梢循環障害改善剤「オパルモン錠」が、腰部脊柱管狭窄症の適応領域で新規処方拡大がさらに進みましたほか、過活動膀胱治療剤「ステーブラ錠」も、当該市場での育成が順調に進み、売上を伸ばしました。さらに、昨年4月に骨粗鬆症治療剤「リカルボン錠」が新発売となり、また、同年12月には、2型糖尿病治療剤「グラクティブ錠」、癌化学療法に伴う悪心・嘔吐治療剤「イメンドカプセル」がそれぞれ新発売となり、売上に寄与することとなりました。

一方、競合品との競争激化や、後発品の影響などから、気管支喘息・アレルギー性鼻炎治療剤「オノンカプセル」や気管支喘息(小児)治療剤「オノンドライシロップ」、糖尿病性神経障害治療剤「キネダック錠」などの売上が減少し、売上高全体としては前期比5億円(0.4%)減の1,359億円となりました。

### ②営業利益 398 億円 前期比 8.4%減 (前期 434 億円)

売上高が前期比5億円(0.4%)減の1,359億円となり、売上原価は前期比4億円(2.3%)減の208億円、販売費及び一般管理費が前期比35億円(4.9%)増の753億円となりました結果、営業利益は前期比36億円(8.4%)減の398億円となりました。

なお、販売費及び一般管理費のうち研究開発費につきましては、引き続き積極的な研究開発活動を進め、前期比13億円(3.5%)増の397億円となりました。また、研究開発費を除く販売費及び一般管理費は、新製品上市に伴う販売促進費の増加などで前期比22億円(6.6%)増の355億円となりました。

### ③経常利益 427 億円 前期比 8.6%減 (前期 467 億円)

受取利息及び受取配当金が前期比3億円減少したことなどで、営業外収支が前期比4億円(12.5%)減の28億円となり、経常利益は前期比40億円(8.6%)減の427億円となりました。

### ④特別損益 特別損益は4億円の利益 前期比69億円利益が増加

#### 1) 特別利益が前期比8億円減少

- (1) 前期には、投資有価証券売却益13億円を計上しました。
- (2) 当期には、過年度研究開発費戻入益など4億円を計上しました。

#### 2) 特別損失が前期比78億円減少

- (1) 前期には、投資有価証券評価損78億円を計上しました。
- (2) 当期には、特別損失の計上はありませんでした。

### ⑤当期純利益 278 億円 前期比 17.3%増 (前期 237 億円)

当期から試験研究費の税額控除の上限が拡大されたことなどもあり、税金費用が前期比12億円減少しました。

## 主な製品の売上高

(単位：億円)

	21年度		
	通期 (実績)	前期比	
		増減額	増減率
オパルモン錠	446	+27	6.4%
オノンカプセル	251	▲20	▲7.3%
キネダック錠	161	▲12	▲7.0%
フオイパン錠	127	▲6	▲4.8%
オノンドライシロップ	91	▲7	▲6.7%
注射用エラスポール	52	▲3	▲5.3%
ステーブラ錠	46	+18	62.4%
注射用オノアクト	31	+1	3.4%
グラクティブ錠	15	—	—
リカルボン錠	9	—	—
イメンドカプセル	5	—	—

(注1) 今回から、仕切価格（出荷価格）ベースでの売上高を開示しております。

(注2) グラクティブ錠、リカルボン錠、イメンドカプセルについては、当年度に新発売されたため、前期比の増減額、増減率を記載しておりません。

## 海外売上高

(単位：億円)

	20年度	21年度
輸出高	30	32
海外特許料収入	13	13
海外売上高合計	44	46
売上高比率	3.2%	3.4%

### 主要輸出先

韓国、アメリカ、イタリア、台湾、ドイツ、メキシコなど

### 主要輸出品目

オパルモン、オノン、プロスタンディン、  
プレグランディン、フオイパン、エフオーワイなど

## 平成 22 年度 (23 年 3 月期) の連結決算業績 (見込み)

### ①売上高 1,290 億円 前期比 5.1%減(21 年度 1,359 億円)

2 型糖尿病治療剤「グラクティブ錠」、過活動膀胱治療剤「ステーブラ錠」、癌化学療法に伴う悪心・嘔吐治療剤「イメンドカプセル」、骨粗鬆症治療剤「リカルボン錠」といった新製品の市場育成による売上拡大に努めますとともに、既存の主力品について引き続き潜在市場の開拓活動に取り組みますが、薬価改定の影響（6%台の半ば）に加え、後発品普及促進策の浸透によるマイナス影響が一層拡大することが懸念されますことから、売上高は前期比 69 億円（5.1%）減の 1,290 億円を予想しています。

### ②営業利益 320 億円 前期比 19.7%減 (21 年度 398 億円)

経費の更なる効率化に加えて退職給付費用の負担減などもあり、販売費及び一般管理費は減少するものの、原価率の高い新製品の売上拡大に伴い売上原価が増加する見込みであることから、営業利益は前期比 78 億円(19.7%)減の 320 億円と予想しています。

なお、販売費及び一般管理費のうち研究開発費につきましては、引き続き積極的な研究開発活動を進め、前期比 15 億円(3.8%)増の 412 億円となる見込みです。

### ③経常利益 340 億円 前期比 20.4%減 (21 年度 427 億円)

営業外収支は前期比 8 億円（30.3%）減の 20 億円と予想しています。

### ④当期純利益 221 億円 前期比 20.7%減 (21 年度 278 億円)

## 連結決算業績（見込み）

（単位：億円）

	20年度	21年度	22年度 見込み	21年度比
売上高	1,365	1,359	1,290	▲5.1%
営業利益	434	398	320	▲19.7%
経常利益	467	427	340	▲20.4%
当期純利益	237	278	221	▲20.7%

## 主な製品の売上高（見込み）

（単位：億円）

	21年度			22年度予想	
	通期 (実績)	前期比		金額	増減率
		増減額	増減率		
オパルモン錠	446	+27	6.4%	425	▲4.7%
オノンカプセル	251	▲20	▲7.3%	165	▲34.3%
キネダック錠	161	▲12	▲7.0%	130	▲19.2%
フオイパン錠	127	▲6	▲4.8%	105	▲17.3%
オノンドライシロップ	91	▲7	▲6.7%	80	▲12.2%
注射用エラスポール	52	▲3	▲5.3%	55	6.1%
ステーブラ錠	46	+18	62.4%	65	42.5%
注射用オノアクト	31	+1	3.4%	35	11.4%
グラクティブ錠	15	—	—	75	—
リカルボン錠	9	—	—	20	—
イメンドカプセル	5	—	—	45	—

（注1）今回から、仕切価格（出荷価格）ベースでの売上高を開示しております。

（注2）グラクティブ錠、リカルボン錠、イメンドカプセルについては、当年度に新発売されたため、前期比の増減額、増減率および来期の増減率を記載しておりません。

## 連結キャッシュ・フローの状況

(単位：億円)

	20年度	21年度	増減
現金及び現金同等物期首残高	474	534	
営業活動によるキャッシュ・フロー	245	213	▲32
投資活動によるキャッシュ・フロー	307	168	▲138
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲490	▲195	294
増減（現金及び現金同等物）	60	186	
現金及び現金同等物期末残高	534	720	

(注) 各年度の▲はキャッシュの流出を示しています。

(増減の主な内容・・・カッコ内は、20年度→21年度)

### ①営業活動によるキャッシュ・フロー

経常利益の減少	▲40億円 (467億円→427億円)
売上債権の減少	+62億円 (16億円→78億円)
退職給付信託に対する現金拠出	+50億円 (▲100億円→▲50億円)
たな卸資産の増加	▲44億円 (▲0億円→▲45億円)
未収入金の増加	▲73億円 (0億円→▲73億円)

### ②投資活動によるキャッシュ・フロー

有価証券及び投資有価証券の償還等による収入と取得による支出の差額	▲119億円 (325億円→205億円)
有形固定資産の取得による支出の増加	▲17億円 (▲15億円→▲32億円)

### ③財務活動によるキャッシュ・フロー

自己株式の取得による支出の減少	+265億円 (▲265億円→▲0億円)
配当の支払いの減少	+29億円 (▲224億円→▲195億円)



# 連結損益計算書

(単位：億円)

	20年度	21年度	増減
売上高	1,365	1,359	▲5
(前期増減率)	▲6.4%	▲0.4%	
売上原価	213	208	▲4
(対売上高比率)	15.6%	15.3%	
販売費・一般管理費	717	753	+35
(対売上高比率)	52.6%	55.4%	
内、研究開発費	383	397	+13
(対売上高比率)	28.1%	29.2%	
営業利益	434	398	▲36
(前期増減率)	▲16.9%	▲8.4%	
(営業利益率)	31.8%	29.3%	
営業外収益	36	33	▲2
営業外費用	3	5	+1
経常利益	467	427	▲40
(前期増減率)	▲15.2%	▲8.6%	
(経常利益率)	34.2%	31.4%	
特別利益	13	4	▲8
特別損失	78	—	▲78
税金等調整前当期純利益	402	431	+28
法人税・住民税及び事業税	162	173	+11
法人税等調整額	0	▲23	▲23
少数株主利益	2	2	▲0
当期純利益	237	278	+41
(前期増減率)	▲32.2%	+17.3%	
(当期純利益率)	17.4%	20.5%	

## ＜主な対前期増減要因＞

- ・新製品上市に伴う販売促進費が増加
- ・研究所での実験費用の増加により研究開発費が増加

## ◎ ＜特別損益の内容＞

当期の特別損益は4億円の利益となり前期比で69億円利益が増加しました。

### 1) 特別利益が前期比 8 億円減少

- (1) 前期には、投資有価証券売却益 13 億円を計上しました。
- (2) 当期には、過年度研究開発費戻入益などで 4 億円を計上しました。

### 2) 特別損失が前期比 78 億円減少

- (1) 前期には、投資有価証券評価損 78 億円を計上しました。
- (2) 当期には、特別損失の計上はありませんでした。

## 連結貸借対照表

(単位：億円)

	20年度	21年度	増減	
流動資産	1,805	1,818	+12	
現金及び預金	141	153	+12	
受取手形及び売掛金	394	316	▲78	
有価証券	1,029	978	▲50	
たな卸資産	100	146	+45	
繰延税金資産	130	137	+6	
その他	9	86	+76	※(注1)
貸倒引当金	▲0	▲0	▲0	
固定資産	2,407	2,513	+106	
有形固定資産	505	500	▲5	
建物及び構築物	243	236	▲7	
機械装置及び運搬具	18	21	+2	
土地	225	225	—	
建設仮勘定	7	6	▲1	
その他	10	10	+0	
無形固定資産	10	8	▲1	
投資その他の資産	1,891	2,005	+113	
投資有価証券	1,783	1,906	+122	※(注3)
繰延税金資産	51	39	▲11	
その他	56	59	+2	
貸倒引当金	▲0	▲0	▲0	
資産の部合計	4,212	4,332	+119	

※(注1) 未収入金の残高が増加したことなどによる。

(参考)

\*金融資産(現金及び預金、有価証券、投資有価証券の合計)の過去3年間の推移

(単位：億円)

	18年度(19年3月末)	19年度(20年3月末)	20年度(21年3月末)	21年度(22年3月末)
金融資産残高	3,793	3,523	2,953	3,038

(単位：億円)

	20年度	21年度	増減
負債の部	312	271	▲41
流動負債	254	234	▲20
支払手形及び買掛金	34	23	▲10
未払法人税等	91	84	▲7
賞与引当金	38	38	+0
その他の引当金	13	16	+3
その他	77	71	▲6
固定負債	57	36	▲21
長期借入金	0	0	▲0
長期未払金	5	0	▲4
繰延税金負債	0	0	+0
再評価に係る繰延税金負債	29	29	—
退職給付引当金	21	5	▲16
その他	0	0	+0
純資産の部	3,900	4,061	+160
資本金	173	173	—
資本剰余金	170	170	—
利益剰余金	4,225	4,308	+83
自己株式	▲634	▲634	▲0
株主資本合計	3,935	4,018	+82
その他有価証券評価差額金	21	97	+75
土地再評価差額金	▲89	▲89	—
為替換算調整勘定	▲2	▲1	+0
評価・換算差額等合計	▲69	6	+75
少数株主持分	34	36	+2
負債及び純資産合計	4,212	4,332	+119

※（注2） 自己保有の株式数

20年度末累計 1,210万株      21年度末累計 1,211万株

※（注3） 保有有価証券の含み益の増加などによる。

## 連結株主資本等変動計算書

(単位：億円)

	株 主 資 本				
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計
前期末残高	173	170	4,225	▲634	3,935
当期変動額					
剰余金の配当			▲195		▲195
当期純利益			278		278
自己株式の取得				▲0	▲0
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					
当期変動額合計	-	-	83	▲0	82
当期末残高	173	170	4,308	▲634	4,018

	評 価 ・ 換 算 差 額 等				少数株主 持分	純資産 合計
	その他 有価証券 評価差額金	土地 再評価 差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等 合計		
前期末残高	21	▲89	▲2	▲69	34	3,900
当期変動額						
剰余金の配当						▲195
当期純利益						278
自己株式の取得						▲0
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	75		0	75	2	77
当期変動額合計	75	-	0	75	2	160
当期末残高	97	▲89	▲1	6	36	4,061

## 発行済株式・自己株式

株式の種類	20年度末 (千株)	増加 (千株)	減少 (千株)	21年度末 (千株)
発行済株式 普通株式	120,847	—	—	120,847
自己株式 普通株式	12,109	3	—	12,113

(増加) 単元未満株式の買取りなどによる増加 3千株

## 退職給付債務の状況について

21年3月末現在 (連結) 割引率1.4%適用 (単位:億円)

	合計
退職給付債務	376
年金資産(時価)(注)	322
引当金	21
未認識数理計算上の差異	32

平成20年度に発生した年金資産の運用損(未認識数理計算上の差異)32億円については、平成21年度に退職給付費用として計上しました。

(注)退職給付財政の健全化を目的として、退職給付信託を設定し現金100億円を拠出しました。これにより、退職給付引当金の残高が同額減少しております。

22年3月末現在 (連結) 割引率1.4%適用 (単位:億円)

	合計
退職給付債務	384
年金資産(時価)(注)	392
引当金	5
未認識数理計算上の差異	▲12

平成21年度に発生した年金資産の運用益(未認識数理計算上の差異)12億円については、平成22年度に退職給付費用から控除する予定です。

(注)退職給付財政の健全化を目的として、退職給付信託を設定し現金50億円を拠出しました。これにより、退職給付引当金の残高が同額減少しております。

## 減価償却費・設備投資額 (連結決算ベース)

### ・減価償却費・率

(単位：億円)

	20年度	21年度	22年度 予定
減価償却費	29.5	29.6	31.0
対売上比率%	2.2%	2.2%	2.4%

### ・設備投資額 (工事ベース)

(単位：億円)

	20年度	21年度	22年度 予定
生産設備 生産機器更新等	12.5	17.2	5.0
研究設備	8.5	3.7	7.1
営業設備他	1.9	3.4	16.7
合計	22.9	24.4	28.9

## 期末従業員数 (連結決算ベース)

	20年度	21年度
期末従業員数 (人)	2,646	2,661

## 平成 21 年度 (22 年 3 月期) 単独決算

### 主要な経営指標等の推移

(単位：億円)

	20年度	21年度	22年度 予定
売上高	1,347	1,343	1,275
営業利益	428	392	317
経常利益	461	420	337
当期純利益	235	276	220
一株当たり当期純利益	214.3円	254.2円	202.3円
一株当たり年間配当金 (注)	180円	180円	180円
純資産	3,842	3,998	
総資産	4,145	4,261	
自己資本比率	92.7%	93.8%	
一株当たり純資産	3,533.1円	3,676.6円	
自己資本当期純利益率(ROE)	5.8%	7.1%	

(注) 20年度一株当たり年間配当金の内訳 普通配当 180円

21年度一株当たり年間配当金の内訳 普通配当 180円

### 自社品比率

	20年度	21年度
自社品比率	97.0%	97.3%



## 損益計算書

(単位：億円)

	20年度	21年度	増減
売上高	1,347	1,343	▲3
売上原価 (売上原価率)	206 15.3%	201 15.0%	▲4
研究開発費 (研究開発費率)	384 28.5%	399 29.8%	+15
その他販管費 (販管費率)	328 24.4%	349 26.0%	+20
営業利益	428	392	▲35
営業外収益	36	33	▲3
受取利息及び配当金	33	29	▲3
営業外費用	3	5	+1
経常利益	461	420	▲40
特別利益	13	4	▲8
投資有価証券売却益	13	0	▲12
過年度研究開発費戻入益	—	3	+3
特別損失	78	—	▲78
投資有価証券評価損	78	—	▲78
税引前当期純利益	396	424	+28
法人税・住民税及び事業税	160	171	+11
法人税等調整額	▲0	▲23	▲23
当期純利益	235	276	+40

※ (注1)

※ (注1)

主な対前期増減要因

- ・ 研究所での実験費用の増加により研究開発費が増加
- ・ 新製品上市に伴う販売促進費の増加によりその他販管費が増加

## 貸借対照表

(単位：億円)

	20年度	21年度	増減
(資産の部)			
<b>I 流動資産</b>	<b>1,765</b>	<b>1,775</b>	<b>+10</b>
現金・預金	116	123	+7
受取手形	0	0	▲0
売掛金	388	310	▲78
有価証券	1,024	976	▲47
たな卸資産	96	142	+45
繰延税金資産	129	136	+6
未収入金	0	74	+73
その他	8	11	+3
貸倒引当金	▲0	▲0	▲0
<b>II 固定資産</b>	<b>2,379</b>	<b>2,485</b>	<b>+105</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>487</b>	<b>485</b>	<b>▲2</b>
建物	226	221	▲5
機械・装置	13	17	+3
土地	225	225	—
建設仮勘定	7	6	▲0
その他	15	14	▲0
<b>無形固定資産</b>	<b>10</b>	<b>8</b>	<b>▲1</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>1,881</b>	<b>1,991</b>	<b>+110</b>
投資有価証券	1,773	1,892	+119
繰延税金資産	51	39	▲11
その他	57	59	+2
貸倒引当金	▲0	▲0	▲0
<b>資産合計</b>	<b>4,145</b>	<b>4,261</b>	<b>+116</b>

※ (注2)

(単位：億円)

	20年度	21年度	増減
(負債の部)			
<b>I 流動負債</b>	<b>246</b>	<b>228</b>	<b>▲18</b>
支払手形	5	1	▲3
買掛金	24	18	▲5
未払費用	44	32	▲12
未払法人税等	90	83	▲7
賞与引当金	37	38	+0
役員賞与引当金	0	0	▲0
返品調整引当金	0	0	▲0
売上割戻引当金	7	8	+0
販売促進引当金	4	7	+2
その他	30	38	+7
<b>II 固定負債</b>	<b>56</b>	<b>35</b>	<b>▲21</b>
長期借入金	0	0	▲0
長期未払金	5	0	▲4
再評価に係る繰延税金負債	29	29	—
退職給付引当金	21	4	▲16
その他	0	0	—
<b>負債合計</b>	<b>302</b>	<b>263</b>	<b>▲39</b>
(純資産の部)			
株主資本			
資本金	173	173	—
資本剰余金	170	170	—
資本準備金	170	170	—
利益剰余金	4,200	4,281	+80
利益準備金	43	43	—
その他利益剰余金	4,157	4,237	+80
別途積立金等	3,745	3,745	—
繰越利益剰余金	411	492	+80
自己株式	▲634	▲634	▲0
<b>株主資本合計</b>	<b>3,910</b>	<b>3,990</b>	<b>+80</b>
評価・換算差額等			
その他有価証券評価差額金	21	96	+75
土地再評価差額金	▲89	▲89	—
<b>評価・換算差額等合計</b>	<b>▲67</b>	<b>7</b>	<b>+75</b>
<b>純資産合計</b>	<b>3,842</b>	<b>3,998</b>	<b>+155</b>
<b>負債及び純資産合計</b>	<b>4,145</b>	<b>4,261</b>	<b>+116</b>

※ (注1) 自己保有の株式数 20年度末累計 1,209万株 21年度末累計 1,210万株

※ (注2) 保有有価証券の含み益の増加などによる。

## 株主資本等変動計算書

(単位：億円)

	株 主 資 本							
	資本金	資本 剰余金	利 益 剰 余 金				自己 株式	株主資本 合計
			利益 準備金	別途 積立金等	繰越利益 剰余金	利益 剰余金 合計		
前期末残高	173	170	43	3,745	411	4,200	▲634	3,910
当期変動額								
剰余金の配当					▲195	▲195		▲195
当期純利益					276	276		276
自己株式の取得							▲0	▲0
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)								
当期変動額合計	-	-	-	-	80	80	▲0	80
当期末残高	173	170	43	3,745	492	4,281	▲634	3,990

	評 価 ・ 換 算 差 額 等			純資産 合計
	その他 有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	評価・換算 差額等合計	
前期末残高	21	▲89	▲67	3,842
当期変動額				
剰余金の配当				▲195
当期純利益				276
自己株式の取得				▲0
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	75		75	75
当期変動額合計	75	-	75	155
当期末残高	96	▲89	7	3,998

## 販売費及び一般管理費・率

(単位：億円)

	20年度	21年度	22年度 予定
販売費 対売上比率 %	87 6.5	104 7.8	97 7.7
研究開発費 対売上比率 %	384 28.5	399 29.8	412 32.3
その他 対売上比率 %	240 17.9	244 18.2	216 16.9
合計 対売上比率 %	712 52.9	749 55.8	726 56.9

## 有価証券・投資有価証券残高内訳

(単位：億円)

### 有価証券

FFF・MMF 576  
1年以内償還債券 400

---

合計 976

### 投資有価証券

債券 1,111  
株式 759  
その他 21

---

合計 1,892

## 期末従業員数

	20年度	21年度
期末従業員数(人)	2,404	2,430

## 販売状況

(単位：百万円)

	20年度	21年度
循環呼吸器系薬剤 比率 %	95,558 70.9	93,744 69.8
代謝性薬剤及び ビタミン剤 比率 %	15,822 11.7	16,221 12.1
消化器系薬剤 比率 %	14,550 10.8	14,227 10.6
泌尿器系薬剤 比率 %	2,252 1.7	4,162 3.1
化学療法剤、 ホルモン剤他 比率 %	1,089 0.8	987 0.7
診断用試薬 比率 %	178 0.1	139 0.1
その他の医薬品等 比率 %	5,264 3.9	4,879 3.6
合計	134,716	134,362

## 株式の状況（平成22年3月31日現在）

### 株式数

1. 発行可能株式総数..... 300,000,000株  
 2. 発行済株式の総数..... 120,847,500株

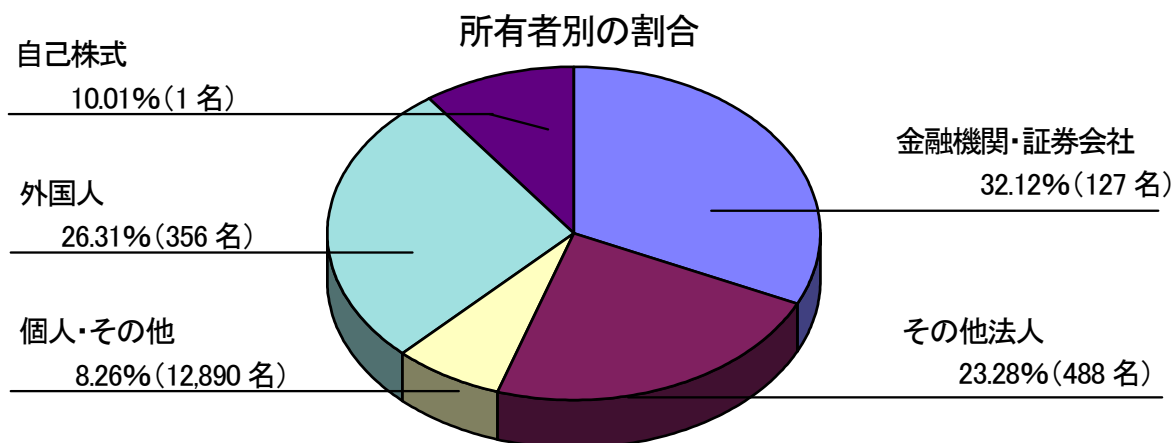
株主数..... 13,862名

### 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	8,380	6.93
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6,595	5.45
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	5,858	4.84
明治安田生命保険相互会社	3,718	3.07
株式会社 鶴 鳴 荘	3,298	2.72
公益財団法人小野奨学会	3,285	2.71
あいおい損害保険株式会社	2,458	2.03
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	2,380	1.96
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,728	1.43
日清食品ホールディングス株式会社	1,628	1.34

(注) 当社は、自己株式12,102千株を保有しておりますが、上記大株主には記載しておりません。

## 株式の分布状況



(注) 上記所有者別の割合について、小数点以下第3位以下を切り捨てているため、各項目の比率を加算しても100%になっておりません。